

備前市事務事業評価表

事務事業名	吉永美術館管理運営事業		コード	03-03-01-04
			担当課・係	吉永美術館
			担当者	小原龍子
			電話	84-3839
事業実施期間				
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	地域文化と人が輝くまちづくり		
	中項目(基本施策)	歴史と文化の輝くまちづくり		
	小項目(施策)	文化芸術の振興及び文化施設の適正な管理運営		

事業について				
目的 (何のために)	郷土に関する資料の収集・保存を行うと同時に、展示によって郷土の歴史や文化についての理解・認識を深め、郷土の財産として後世に伝える。また、貸しギャラリーとしての貸館業務を行う。			
対象 (誰・何を対象に)	郷土の歴史に興味のある方、美術品をギャラリーとして展示したい方			
内容	常設展による郷土著名人等の作品展示及び企画展として民間団体と共催し市内学童の絵画を展示			

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業の結果				
実施項目	17年度		18年度	
	回数など	(単位)	回数など	(単位)
入館者数	800人		800人	
開催日数	126日		123日	

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	1,327	国庫補助金等		直接事業費	1,095	国庫補助金等	
	人件費	830	委託費負担		人件費	665	委託費負担	
	合計	2,157	市債	2,157	合計	1,760	市債	1,760

結果指標	結果指標名	入館者数	入館者数	
	結果指標量	800	800	
	単位	人	人	
	対前年比	-	100.00%	0.00%
結果指標	活動にかかるコスト	2,157,000円	1,760,000円	
	単位当たりコスト	2,696円	2,200円	
	結果指標名	開催日数	開催日数	
	結果指標量	126日	123日	

事業の目的やその数値目標である結果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事業の成果				
どのような成果を得ようとしているか	郷土の歴史や文化についての理解・認識を深める。			
成果指標名	年間入館者数	式又は説明	年間を通した入館者数	
成果指標	17年度	18年度		
	800	800		
	-	100.00%	0.00%	
	到達目標値	1,000	到達目標年度	平成20年度

(平成18年度事業)

事務事業の評価	目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等：	妥当性評価<A~E>	C		
		対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	課題認識	郷土著名人の美術品等を所蔵しているものの、観覧者が満足する展示が出ていない。今後、内容の充実した展示をするべきである。		
		市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である				
		市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である				
コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E>	D				
効率性の評価	職場の効率化	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	課題認識	公民館職員で対応しているため、コスト的には削減されているが、事業内容の有効性が伴わない。		
		目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している				
		効果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある			有効性評価<A~E>	D
		市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている				

平成19年度状況		説明	展示内容の検討をしている。	
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している			
<input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している			
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了			
目標値	結果指標量	900	結果指標量	150
目標値	結果指標量	1,000		

総合評価	評価区分<A~E>
展示内容の充実、開館期間・時間を検討するべきである。	D

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	---	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	展示品内容の充実	平成20年度	内容充実させ、入館者の増加